

NPO法人 たがやす

町田市

平成30年1月調査

1 活動の目的

農地や緑地が比較的残っている町田市にあっても、年々都市化が進んでいます。後継者不足等による農地減少の問題は、地域で穫れる野菜を食べたいという消費者にとっても、農業を続けていきたいと願う生産者にとっても深刻な問題になっています。また、このような状況の中で加速される田畑や丘陵地、緑地の減少は、環境への負荷も招いています。

「NPO法人たがやす」では、援農を必要とする農家と農業体験を希望する市民をつなぎ、援農活動、市民・体験農園の運営、地場野菜普及活動、生ゴミリサイクル運動などに取り組んでいます。

援農活動は、相互扶助のボランティア精神に基づいて、農家と市民の協力により、多面的な機能を有する東京の農地を維持・管理し、今後も農地として存続させることを目的としています。

2 活動が始まったきっかけ

農家の高齢化等担い手不足の中、地元農家を守るには援農だと思い、主婦(生活クラブ)が中心になって、4軒ほどの農家に10名ほどの援農ボランティアがお手伝いに行くことから始まりました。

最初から相互扶助の有償ボランティア(謝礼500円/1時間)で始めました。交通費などもかかるので、ほとんど無償のようなものですが、ボランティア・農家双方に責任感が生まれます。

3 会員資格

特になし。

※援農受入農家は本会の正会員とします。

※援農参加者は、2ヶ月以内の試用期間の後、正式参加するにあたり本会の会員になります。

4 会員の募集方法

広報まちだ、弊法人ブログ、生活クラブ生協の広報誌、会員からの紹介など

5 入会金・年会費等の有無

【年会費】 個人正会員 3,000円、団体正会員10,000円、賛助会員1,000円

6 会員数

約150名

7 会員の特徴

定年された方、社会貢献したい方の活躍の場になっています。

8 行政等からの支援の有無

援農者育成研修に町田市より補助金年間40万円あり。

(講師料・種・苗等年間60万円以上かかった費用のうち支払われる。)



9 活動概要

1 援農ボランティアの育成研修事業(七国山)

七国山市民研修農園において、援農ボランティア育成講座を毎年4月～翌年1月までの10ヶ月間にわたり開講しています。

2 受託活動

(1) 農作業受託

(2) 援農ボランティアによる援農

老若男女を問わず、農作業が初めての方でもできる農作業をご紹介します。

【農作業内容】 野菜の収穫、野菜の苗植え、野菜の袋詰、堆肥散布、除草作業など。

【作業時間】 作業内容により異なりますので、参加者の希望にあった農作業をご紹介します。

【援農受入農家】 町田市内各地域の農家

【謝礼内容】 農家から1時間あたり590円を集金。そのうち事務局は事務経費として農家と援農者から60円ずつ受け取り、残り470円を援農者へ支払います。+その時期に収穫される野菜(規格外・ある場合のみ)

【平成28年度の活動実績】

- 一般援農参加者69名、のべ時間16,276時間
- ナス収穫援農参加者25名、総量28,951kg

(3) 農業研修受託事業(町田市研修農場・通称萬松寺)

町田市が農業の担い手育成のために開設し、たがやすが管理運営を受託して研修を行っています。

3 地場野菜普及活動

直売所、地場野菜セットの宅配(月2回、地場野菜を近隣の個人宅に届けています)、出荷作業代行、食育への貢献(幼稚園、保育園や福祉施設、地域団体から芋ほりや季節の野菜収穫の希望に応え、収穫体験を数多く開催しています)。

4 農園事業

小野路農園クラブで年会員対象の講習会や、一般参加歓迎の収穫体験等のイベントを開催。町田市社会福祉協議会が毎年開催する「親子でヤキイモプロジェクト」で使用するサツマイモを供給しています。年間会員契約している「ゼルビアいもづるの会」と共同でも多彩なイベントを開催し、農業体験のネットワークを広げています。

5 生ゴミリサイクル事業 ほか



10 現在、運営・活動で大変に感じる事、困っていることなど

- (1) 農家・援農者ともに高齢化が進んでいること。
- (2) 夏の暑さに援農者は体力的にもきつく、参加者が少ないので日程調整が大変。
- (3) 援農というボランティア的な事を希望する人が少ない。農業のきつさばかりが表面化している気がしている。
- (4) 会の運営に関わる事務もボランティアに支えられています(謝礼500円/時、程度。委託事業は除く)。

11 今後の方向性

遊休地がますます増える中、農業技術を持つ人を育成して農業集団になっていきたい(夢ですけど)。

12 事務局もしくは会員からひとことメッセージ

人手の足りない農家をお手伝いする援農ボランティアをしてみませんか?

土に触れ、タネや苗を自分の手で植えて育てた野菜は味わい深いものですよ。

13 問合せ先

住 所 〒194-0023 東京都町田市旭町1-23-2 生活クラブ館まちだ

電 話 042-794-9002 090-3435-8611

Eメール npo-tagayasu@nifty.com

担当者名 斉藤 恵美子